

地震への備え

緊急事態宣言の延長を始め、連日の新型コロナウイルスの報道に食傷気味の人も少なくないと思います。コロナ禍の生活の中でも後回しにできないことがあります。それは地震への備えです。東日本大震災から10年が経過しました。皆さんは平成23年3月11日午後2時46分の地震の当日を覚えていますか。筆者は出張の途中、信号待ちをしながら、電信柱が大きく揺れ出しました。車に倒れてきたら死ぬかもしれないと恐怖心を抱いたことを鮮明に覚えています。コロナも怖いですが、地震はもっと怖いのです。今、この瞬間にも地震は来るか

もしれません。地震の備えのチェックをしましょう。第一は命を守ることです。次に電気、ガス、水道が止まるかもしれません。学校でも各家庭でも十分考えておくことです。第二は寝室の対策です。寝ていれば室内が真っ暗になります。割れたガラスの破片で怪我しないように枕元にスリッパや懐中電灯を必ず置いておくこと、筆筒や本棚も倒れないように工夫してしておくことです。第三は食料の備蓄です。缶詰等は普段から一つ多めに買い、賞味期限ごとに収納しておきましょう。第四は停電しても充電式の掃除機が役立つことです。必需品の車は、燃料が半分になったら給油することとを心掛けることです。

〇二月の言葉

年度末は学習も仕事も最後の見直しと丁寧な仕上げが新年度の事前準備になります。

〇語彙力チェック

①「きれいに澄み切っている」という意味の「せいちょう」は漢字でどう書くか。

A 青澄 B 晴澄 C 清澄

②「生長」の意味として正しいのは次のどれか。

A 動植物が生まれ育つこと

B 規模が大きくなること

C 事業が拡大すること

③「晴天の霹靂（へきれき）」の「霹靂」とは、何を意味しているか。

A 入道雲 B 雷 C 霜 D 崖

④「成敗する」の意味で正しくないのは次のどれか。A ならしめること

B 成功した後で失敗すること

C 罪人を打ち首にすること

⑤「静謐」の読みを書け。

（解答）①C②A③B④B

⑤せいひつ